DJ-P221　セットモードの拡張について

DJ-P221　特定小電力トランシーバには、普段の使用には余り必要が無くても環境や特定のニーズによってカスタマイズできると便利な項目を拡張セットモードに持たせております。通常の設定項目にしなければならないほどには頻繁に使わない上、意味が分かってお使い頂かないと電池を早く消費したり、「故障かな？」と思うような動作をしたりする可能性があるので、これらは下記のボタン操作にてセットモードの拡張を行った後に設定画面に現れるようになっており、敢えて取扱い説明書には記載しておりません。
これら拡張メニューはパラメータ変更後に再びメニュー表示を隠すことと、完全初期化（通常のセットモード、チャンネル設定なども含めた全てを工場出荷状態に戻すリセット）が可能です。

拡張方法は、本書の最後に記載しています。増えた項目は、通常のセットモード項目の後ろに続けて表示されます。**もしリストされていないEmP,btsのような項目が出たら、巻末をご覧ください。**

[拡張後に使えるセットモード項目]

1：スケルチレベル（SqL）

設定値　0~5（初期値 3）
FM 電波特有の通話が無いときに聞こえるホワイトノイズを消す「スケルチレベル」の調整。工場設定で標準的なレベルに調整してありますが、ノイズが強い環境などで、通話していない時でもスケルチが開きカサカサと音が出る場合にレベルを上げると静かな待受けが可能になりますが、弱い通信信号も消してしまうため通話距離が短くなるように感じられることがあります。
逆にノイズが低い環境では、レベルを低めに設定することで弱めの信号でも受信しやすくなる場合があります。レベルをゼロにすると、常にザーというノイズが聞こえるようになります。
尚、DJ-P221 のホワイトノイズにはパリパリ、、、といったノイズが混じりますが使用している部品の使用によるもので、異常ではありません。

2：キーロック設定に入るまでのボタンを押す時間（LoC）

設定値　1~3 秒（初期値 2 秒）
通常は指定のボタンを 2 秒押すとキーロックが掛かりますが、このタイミングを 1~3 秒の間で変更できます。

3：バッテリーセーブ（bs）

設定値　ON/OFF　（初期値　ON）

電池消費を最小にするバッテリーセーブ機能は、僅かですが通話の始めの部分が途切れる原因の一つになる場合があります。これを少しでも軽減するためのここでBS設定を解除できますが、電池の消費が早くなるためご注意下さい。劇的な効果が期待できる設定値ではありません。

4：電池電圧表示

何かを変えられる項目ではありません。拡張後このメニューに合わせると、お使いの電池のおよその電圧を表示するので電池残量チェックとしてお使いになれます。テスターのような精度ではありませんので目安とお考えください。

5：マイクゲイン調整（mG）

設定値1~7（初期値4）

通話時の癖やアクセサリーマイクのゲインなどの都合で、人によって無線機に入る声量は異なります。このため、音が小さい（話す声が小さい＝レベルを大きくする）、音が歪む（声が大きい＝レベルを小さくする）等の場合に調整できるようになっています。お使いにイヤホンマイクによってもレベル調整が必要になる場合があります。

6：デュアルオペレーション再開時設定（dt）

設定値　1~5（初期値5秒）

デュアルオペレーションモードにて通話終了し交互受信が再開するまでの時間を変更できます。通常は通話終了から5秒経過後に交互受信が再開されますが、交互受信の再開時間を1~5秒に変更できます。通話終了からすぐに交互受信を行いたいときは設定値を小さくしてください。

7：4極オプション使用時での本体PTT、本体マイク設定（Pt）

設定値　OFF/OUT/ALL（初期値ALL）

4極オプション（イヤホン、スピーカマイク等）を本体に接続して使用する際に、本体PTTと本体マイクの有効/無効を設定変更することができます。使用する4極オプションに合わせて設定してください。

OFF：本体PTT無効、本体マイク無効（4極オプションのPTT、外部マイクのみ有効）

OUT：本体PTT有効、本体マイク無効（マイクは4極オプションの外部マイクのみ有効）

ALL：本体PTT有効、本体マイク有効（4極イヤホンを使用する際に設定）

※　OUT　又は　ALLでスピーカマイクを使用する際、本体PTTを押してもスピーカマイクからの音声を送信することはできません。スピーカマイクを使用する際はスピーカマイ

クの PTT を押して送信してください。

8：緊急通報時間設定（Emt）

設定値　10~60（初期値 10 秒）

通常は緊急通報のアラーム鳴動時間と送信時間は 10 秒に設定されていますが、この時間を 10 秒単位（最大 60 秒）で変更することができます。

9：秘話通信周波数(SCF)

設定値　27~34（初期値 34：3.4KHz）

秘話のキャリア周波数を設定します。秘話で通信する際、周波数が一致していないと通信音声の内容が聞き取りにくくなります。初期値以外の周波数を使用したい場合は設定を変更することができます。

10：減電池アラーム設定（btC）

設定値　OFF/5~60 秒（初期値 OFF）

本体の電池が消耗するとディスプレイ右上の電池マークが点滅し、アラームを鳴らして減電池をお知らせします。このとき減電池アラーム設定を 5~60 秒に設定することで、設定時間ごとに 1 回、電池が減っていることを「ププッ」音でお知らせします。但し、電池が減っている状態で音を鳴らして知らせるため間隔を短く設定するほど早く電池が切れてしまいます。

11：グループ種類切り替え設定（Gr）

設定値　ton/Cod（初期値 ton）

DJ-P221 のグループトークは通常のトーンスケルチの他に DCS（デジタルコードスケルチ）に切り替えることができます。グループ種類切り替えを Cod に設定し、通常のトーンスケルチと同様に通常画面で GROUP キーを押すことで DCS を設定することができます（DCS の場合、チャンネルとグループの間に[　_　：アンダーバー]が表示されます。）グループ番号を変更する場合はトーンスケルチと同様に FUNC を押しながら▲、▼で変更（01~83）することができます。

12：VOX 送信持続時間設定（vot）

設定値　01～30（初期値 10：1.0 秒）

VOX 機能を使用して送信したとき、通常は音声が入っていなくても 1 秒間は送信し続けます。これにより、VOX 送信中に一呼吸おいて話しても送信は途切れることなく通信することができます。VOX 送信持続時間を変更することによりこの時間を 0.1 秒～3.0 秒に変更することができます。送受信の切り替えをテキパキと行いたいときは、設定を短めにすることをお勧めします。

13：チャンネル表示設定（CH）

設定値　noL/SP/OFF　（初期値 noL）

DJP221 の通常チャンネル表示は L01～L09、b01～b11 と表示されます。チャンネル表示設定を「SP」に変更することで 01～20 表示にすることができます。

noL	SP
b01～b11	01～11
L01～L09	12～20
b12～b29（中継）	01～18（中継）
L10～L18（中継）	19～27（中継）

また、チャンネル表示設定を OFF に変更することでチャンネルを非表示に変更することができます。（チャンネル、グループ番号は設定直前の状態で保持されます。）

チャンネルを非表示にしているときはチャンネル変更、グループの変更ができません。チャンネル変更、グループ設定する場合はチャンネル設定を nol 又は SP に変更してください。

14.外部音量設定（EvoL）

設定値　L/H　（初期値 L）

別売のスピーカマイクを使用するとき、音声出力を大きくすることができます。

ボリュームツマミを回し切って最大音量にすると少し歪むこと、イヤホンで使うときに大きな音が出すぎると耳を痛めることなどから、出荷状態では L 設定にしています。

イヤホン端子にアクセサリーをつないだ状態でこの設定を H 側にすると、電源スイッチを入れたとき、DJ-P221 の後に[Evol-H]と表示されます。

15:トーン受信設定（tn）

設定値　nol/SP（初期値　nol）

グループトークでのトーンの受信精度を調整することができます。グループトークでトーンが受信しづらい場合、この設定を「SP」に変更することでトーンが受信しやすくなり、トーンでの受信音声を途切れにくくすることができます。但し、「SP」に変更することにより、隣接するグループ番号（トーン周波数）を受けやすくなります。また、受信終了時に「ザッ」音が聞こえてしまいます。

[セットモード拡張の方法]

1：キーロックを掛ける。（2つあるうちの、どちらの方法でも可）

2：グループキーを5回連続で押す。10秒以内に5回押さないと有効になりません。キー操作が有効であれば「ピピッ」とビープ音が鳴ります。

3：自動的にキーロックが解除されます。

4：セットモードに入ると上記のメニューが追加されています。

＊変更した値を保存して拡張メニューを隠すには上記の1~4の操作を繰り返します。

＊チャンネルや通常のセットモードで設定したパラメータも含め全てを工場出荷状態まで初期化するには、電源を切った後フロントパネル上のボタン▲、GROUP、▼の3つ全てを押した状態で電源を入れます。全ての設定がリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

＊説明書に記載のリセット（初期化）方法では拡張セットモードは閉じず、設定した値も初期化されません。拡張セットモード以外の部分は工場状態に戻ります。

以上

アルインコ（株）電子事業部

拡張セットモードの追加

拡張時のセットモードの項目に変更や追加がございました。個体により、すべて搭載されているもの、部分的にしか搭載されていないものがございます。

1: テールノイズキャンセル設定 (tC)
設定値 ON/OFF (初期値 ON)

DJ-P221はグループトーク機能を入れていなくても、通話終了時に受信側から聞こえるテールノイズ（受信状態から待ち受け状態になるときの「ザッ」というノイズ音）を除去するテールノイズキャンセル（ＴＣ）機能が入っています。ＴＣ機能は送信側と受信側の両方で有効にしたときのみ動作します。この機能が入っていない無線機と通話するとき、設定を変える必要はありませんがテールノイズは聞こえてしまいます。ＴＣはグループトーンを使った処理をするので、ごくわずかですが送信終わりから待ち受けに変わるまでにタイムラグが発生します。特殊用途などでこのラグを許容できない場合はオフにしてください。一般の使用ではオフにする必要はありません。

2: 電池過放電防止設定 (bts)
設定値 OFF/ON (初期値 OF)

電源スイッチの切り忘れなどで電池やバッテリーパックを使い切ったとき、過放電を防ぐ動作をします。但し待機電流がゼロになるわけでは無く、電源が入らなくなったら速やかにスイッチを切り、電池を外してください。放置すると液漏れや劣化の原因になります。バッテリーパックであれば説明書の注意書きに従って速やかに充電や保管用補充電をしてください。

3: 秘話エンファシス設定（EmP)
設定値ON/OFF（初期値 ON）

秘話使用時の受信音声を聞きやすく補正できる場合があります。
DJP221、P222、PB20、PB27、CH201、CH271系との秘話通信時は、初期値の「ON」でお使いください。
上記の機種以外が混在する秘話通信時は、「OFF」設定にしてください。

以上